

第107回薬剤師国家試験に向けての勉強方法



村上理 教育推進部長 病態・薬物治療 講師
原田真理 オンライン教室 化学講師
堀川絵里 教育課 法規・制度・倫理 講師

医学アカデミー 薬学ゼミナール

2月20日(土)、21日(日)に第106回薬剤師国家試験(国試)が実施されました。106回国試から新出題基準にそって実施されています。106回国試の傾向をふまえて、107回国試の対策をはじめましょう!

勉強する上で意識してほしいのは、**科目の知識をつなげた横断的な学修**です。例えば、「糖尿病」を勉強するなら、「生物」で糖代謝を学び、「衛生」でメタボリックシンドロームについて確認し、「治療」で病態と治療法、「薬理」で治療薬の作用機序、「実務」で服薬指導の注意点を学修する、といった流れです。その他にも「化学」の知識としてインスリンの構造、「薬剤」の知識としてインスリン製剤(持続性など)なども関わってきます。多くの科目の知識が糖尿病患者さんのサポートに役立っているため、国試でも症例・処方問題などで頻出です。

今号では、107回国試に向けて勉強をはじめめる皆さんに**効率的な学修方法**をお伝えしたいと思います。

学修ツールの例示:新青本

薬学ゼミナール(薬ゼミ)では、国試対策として「**新出題基準に対応した新青本**」を使用した学修をお勧めしています。新青本は、①**分かりやすい内容説明**に加え②**参考書(青本)と問題(青問)の2分冊**にすることでインプットとアウトプットを同時に行える③**見やすいフルカラー印刷**など、自己学修が進みやすい要素を盛り込んだ参考書です。

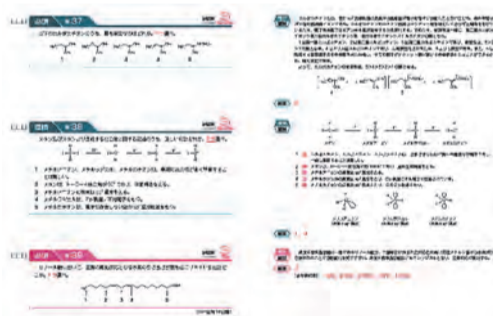


新青本の分冊イメージ

参考書(青本)

107回国試に向けて勉強を始める場合、まずは既出問題の傾向を掴んでおきましょう。勉強を始めたばかりの段階では、参考書を読んでも「どこが大事なのか」「何を覚えたらよいのか」などがうまく分からないことがあります。これが苦手な科目であれば尚更です。でも、既出問題を確認しておけば、出題のポイントを見つけ、解答するための知識を整理していく助けになります。早いうちに国試の形式や出題傾向・頻出範囲を知り、国試対策が本格化する前に自身の得手不得手を把握することで、その後の学修を進めやすくしておきましょう。

青問には**既出問題7年分相当(赤枠)**と、**薬ゼミのオリジナル問題(赤以外の枠)**を掲載し、国試対策として十分な演習量を掲載しています。さらに、既出問題は出題当時の**正答率・選択率**も記載していますので、ひっきりやすいポイントもわかります。青本・青問ともに問題ページは、見開きで構成(左に問題、右に解答解



問題集(青問)

説)されていますので、なるべく右ページを見ずに演習できると良いでしょう。繰り返し演習する場合にも、非常に使いやすいと好評です。

また、近年の国試では、既出問題の周辺知識を問う出題、問い方を変えた出題などが多くを占めますので、問題演習の後は青本の該当箇所を前後の知識まで含めて確認をすることがとても重要です。国試では、薬剤師として求められる基本的な知識を幅広く問うものですから、偏りなく総合的に力をつけていきましょう。

●新青本の特徴

- ・参考書(青本)と問題集(青問)の2分冊
- ・青本・青問の掲載問題は、見やすい見開き(左ページに問題、右ページに解答解説)
- ・わかりやすいフルカラー印刷(業界初!)

コロナ禍でも学びを止めない!

20年度、多くの薬学生の皆さんが、突然の新型コロナウイルス感染症の蔓延に伴う自粛により、一緒に机を並べて勉強する機会が少なくなりました。それでも、薬剤師を目指しての学びを止めるわけにはいきません!薬学ゼミナールでは、106回国試までの約1年間、対面講義に加え、緊急事態宣言発令中はライブ配信講義、オンライン教室を介しての質問対応、電話によるアドバイスまで、薬学生を幅広くサポートして参りました。

その経験を生かし、21年度は新たに「**全日制ライブ配信コース**」を設定し、「**全日制通学コース**」「**オンラインコース**」とあわせた三つのコースで、薬学生をサポート致します。

教室で直接、講義を聞きたい...。質問や面談を対面で行って、安心したい...	そんな学生には	『 全日制通学コース 』がおすすめです。全国の薬ゼミの教室から通える教室を選んでください。 ※コロナ等の状況によりリモート講義になる時間があるかもしれません。
近くに勉強する環境がない...。通学が不安...。1人では計画通り勉強ができない...	そんな学生には	『 全日制ライブ配信コース 』がおすすめです。『全日制通学コース』と同様のタイムスケジュールで、自宅で安心して講義が受講できます。
日中に大学や仕事で、十分な時間が確保できない...。自分に必要な授業を重点的に学習したい...	そんな学生には	『 オンラインコース 』がおすすめです。弱点を繰り返し視聴し、いつでも何度も問題を解くことで効率的に学習できます。

※『全日制通学コース』と『全日制ライブ配信コース』には『オンラインコース』のコンテンツが付与されますので、聞き逃した範囲や習得が不十分な範囲のフォロー体制もばっちりです。
※オンライン教室では、国試対策以外の薬学部の学修ツール、リメディアル教室では、低学年の学修ツールもご用意しています。
詳細はコチラ <https://www.yakuzemi.ac.jp/>
【随時情報が更新されます。最新の内容をご確認ください】

新型コロナウイルス感染症が終息していなくても安心して国試合格に向けて学べるよう、全力でサポートします。どのコースでも一人ひとりに寄り添う講師が待っています。ぜひ、自分にあった学修スタイルを見つけてください。

臨床で役立つ知識が身につく!

基礎からの漢方薬

第4版

【医療用漢方製剤 構成生薬解説】

「漢方医学」、「漢方の基礎理論」、「調剤、服薬指導」、「生薬・方剤」などを図表やカラー写真を多数使い、わかりやすく解説しています。

著 金成俊 / B5判 / 340頁 / 定価 5,000円 + 税 / 5月初旬発売

書籍のご注文は、お近くの書店または薬事日報社オンラインショップ (<https://yakuji-shop.jp/>) まで。

